



富士市立伝法小学校

出前授業レポート

「90分がとても短く感じるほど内容も良かったです！」

富士市立伝法小学校の6年生101人が、社会科の授業で、体験したり実物に触れたりすることにより、歴史学習の理解を深めることを目的に、主任の杉山先生が計画して、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの3つの体験活動を行いました。

土器の分類体験

縄文土器・弥生土器・須恵器の特徴を大まかに確認した後、実際に出土した土器片を3種類に分類してみました。土器片をよく観察して分類してみますが、微妙な違いで、どちらに入るのか迷って、完形土器を観察し直して、もう一度土器片を分類していました。作り方（特に焼き方）を知ると、色や厚さ、模様の特徴がわかるようになり、一気に分類が進みました。5千年も前の土器に触れることができ感動していました。

「いろいろな種類があって楽しかった。」「色が同じでも、違う土器だとわかりました。」



石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器などの石器の種類や石器の役割、大切さなどを確認して、学校が用意したニンジンやジャガイモなどの野菜くずを黒曜石で切ってみました。石で物が切れるなんて思っていなかった子どもたちは、本当に切れることに驚いていました。金属がない時代に思いを巡らせ、石を様々に加工して生活していたことを実感していました。

「石にもいっぱい種類があって、身の回りの物もあって、すごい！」



火起こし体験

はじめに、もみきり法や弓きり法などを紹介し、その後舞きり法の手順とポイントを伝え、デモンストレーションをしました。火が起こると拍手がおきました。次に、班ごと手順に沿って弾み車を回します。コツをつかむまでに多少時間が掛かりましたが、慣れてくると、調子よく回していました。火種がしっかりできてから火口に入れた班は火口が燃え上がりましたが、焦って火種になりきれない状態で火口に入れた班や、フーフータイムまでいっても途中で消えてしまった班など様々でした。それでも、どの班も1回以上はつき、3回ついた班もありました。

杉山先生の感想

「学校ではできない貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。小学生には、日頃から歴史の知識を得るよりも、歴史に興味をもってもらい、好きになってもらうことが大切だと思っており、今回の体験は大変有意義だと思いました。90分がとても短く感じるほど、内容も良かったです。子どもたちは、とても楽しく夢中になって取り組んでいました。丁寧に熱心に説明していただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからの授業にも、今日の体験が生きてくると思います。」

「昔の人は、こんな大変な作業をして火を起こしていたんだなと思った。」

